



ひのみやぐら

No.28

平成22年3月

発行

鶴岡市消防団藤島方面隊
活性化広報委員会



9月5日（土）、地域住民、自主防災組織、消防署、消防団が参加して行われた総合防災訓練

主な記事

- ◎藤島方面隊1年のあゆみ
- ◎特集
藤島方面隊の現在(いま)
合併してから2年・・・

- ◎梯子乗り・纏振り保存会
- ◎藤島分署よりお知らせ
- ◎ファイヤーエンジェルズ
- ◎班紹介『中町』、消防クロスワードなど

消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子

(平成21年度 全国統一防火標語)

鶴岡市消防団藤島方面隊 一年のあゆみ



4/19 初任消防団員 研修会

藤島体育館と芝生広場を会場に初任団員研修会が開催され、入団3年未満の団員と合わせて26名が参加しました。

始めに、鈴木副団長より訓示があり、次に藤島分署員とファイヤーエンジェルスの指導の下、3時間にわたる心肺蘇生とAEDを使用した普通救命講習が行われました。

また、方面隊幹部から訓練礼式・器具操作法の基礎を学びました。

この経験を生かし、「地域を守る消防団員」としてこれからの活躍が期待されます。



5/24 春季消防演習

雨が心配される曇空の下、阿部藤島方面隊長以下507名の消防団員が参加し藤島体育館駐車場を会場に春季消防演習が開催されました。

指揮者の力強い掛け声の下、各種の規律訓練やポンプ操作展示が披露され、消防活動の基本動作が確認されました。その後、梯子乗り・纏振りが披露されると、ベテラン隊員の卓越した演技と若手隊員の果敢な演技に会場は整然とした空気に包まれました。表彰式では現役団員と20年以上勤続された元団員が表彰され、その功績が称えられました。



7/12 藤島方面隊 消防操法大会

藤島体育館駐車場を会場に藤島方面隊消防操法大会が開催され、自動車ポンプ1台、小型ポンプ18台が出場しました。

出場班は、この日のために数ヶ月前から昼夜を問わず厳しい訓練を重ね、一致団結し、「火災現場で早く・安全に・確実な消火活動を行うための基本動作」を体に叩きこんできました。

当日は、各出場班とも指揮者の気迫あふれる号令の下、各操作員は今までの訓練の成果を十二分に発揮し、機敏な操作を展開しました。

審査会の結果

■小型ポンプの部

1位	八色木下区 (4-1-2)
2位	榎 (3-4-3)
3位	下通 (4-2-4)
4位	東堀越一区 (3-2-1)
5位	工藤 (3-3-4)

■最優秀操作員賞

《小型ポンプの部》

指揮者	田村正芳 (八色木下区)
1番員	坂本 巧 (榎)
2番員	飯鉢洋央 (八色木下区)
3番員	澁谷光志 (下通)
4番員	小鷹一晃 (八色木下区)
5番員	叶野寿幸 (東堀越一区)
今野卓哉 (榎)	
渡部光利 (八色木下区)	
高山智幸 (下通)	

《自動車ポンプの部》(減点0)

指揮者 齋藤崇博 (東渡前)



8/2

山形県消防操法 庄内支部大会



県消防学校屋外訓練場を会場に庄内各市町の代表（自動車ポンプ10台・小型ポンプ13台）が集結し、庄内支部操法大会が開催されました。

藤島方面隊の代表班（自動車ポンプ／東渡前、小型ポンプ／八色木下区）は、本大会まで分署員や方面隊幹部の指導の下、厳しい訓練を重ねてきました。

大会では自動車ポンプの部で東渡前班が準優勝という前回出場の4年前と同じ荣誉に輝きました。

大会に向けて訓練に励まれた団員の皆様、大変ご苦労さまでした。また、ご指導頂きました分署員の皆様、そしてご理解とご協力を頂いた地域やご家族の皆様に感謝申し上げます。



9/5

総合防災訓練



藤の花町内会周辺で庄内平野東縁断層帯を震源とする大地震が発生したという想定により、総勢660名が参加し、総合防災訓練が行われました。

はじめに、避難訓練が特別養護老人ホーム、デイサービスなど4事業所と地元藤の花自主防災会と団員の協力により、車椅子や自力避難が困難な方々の避難援助・誘導を行いました。また、こりす保育園と自主防災会の避難訓練も皆様のご協力によりスムーズに出来



ました。

今年は、災害情報収集訓練として庁舎の職員と団員が防災ヘリに乗り、道路の陥落・橋の欠落・家屋の倒壊などの被害の調査を上空から災害本部へと通信による報告が行われました。引き続き防災ヘリを使った救助搬送訓練も行われました。応急手当・心肺蘇生訓練は分署員と女性団員の指導で、自主防災会が行いました。自動体外式除細動器(AED)などが使用され真剣に取り組んで頂きました。

大規模火災防備・延焼阻止訓練では、自主防災会による火事ぶれ、消火栓からの初期消火から始まり、自動車ポンプ2台、小型ポンプ13台による消火活動が



行われました。迅速かつ連携のとれた訓練となりました。

給食・炊き出し訓練では、真心のこもったおいしいおにぎりが参加者に配られました。

交通規制訓練では、災害時で消火・救出活動が円滑に行われるように、警察署員と車両等の誘導を頂きました。地元住民のご協力に感謝いたします。

鶴岡市と合併となり総合防災訓練もこれから変わっていくかもしれませんが、消防団活動においては何も変わらないので、住民の皆様のご協力と、防災意識の向上をお願いしたいと思います。

1/24

藤島地域 消防出初式



例年に無く穏やかな天候の下、大勢の市民が見守るなか、新春恒例の藤島地域消防出初式が、藤島公民館前を会場に行われました。

初めに公民館の大ホールにおいて、藤島地域の無火災と安全を願う神事が執り行われたのち、場所を公民館前県道に移し、団員による「祝賀放水」や「梯子乗り・纏振り」が披露されると、沿道の大勢の市民からは、大きな拍手と歓声があがりました。演技の最後に梯子から「祈無火災」の垂れ幕を下げ、集まった市民へ防火を呼びかけるとともに、参加した消防団員約200名も防火への意識を再確認しました。



藤島方面隊の現在

再編から2年…

平成20年4月1日、これまでの連合消防団体制から再編され、9方面隊、40分団、団員数3473名の山形県内では最大の団員数を誇る、鶴岡市消防団が誕生して、もうすぐ2年が経とうとしています。

これまで様々な広報紙で紹介されていますが、改めて組織等を紹介させていただきます。

鶴岡市消防団は、団長が1名、副団長が5名。その下に各方面隊があります。

藤島方面隊は、旧藤島消防団を基本的に引き継いでいます。

方面隊長1名、副方面隊長1名、5分団、16部、56班、団員定数526名と、鶴岡市消防団では最大の方面隊となっています。

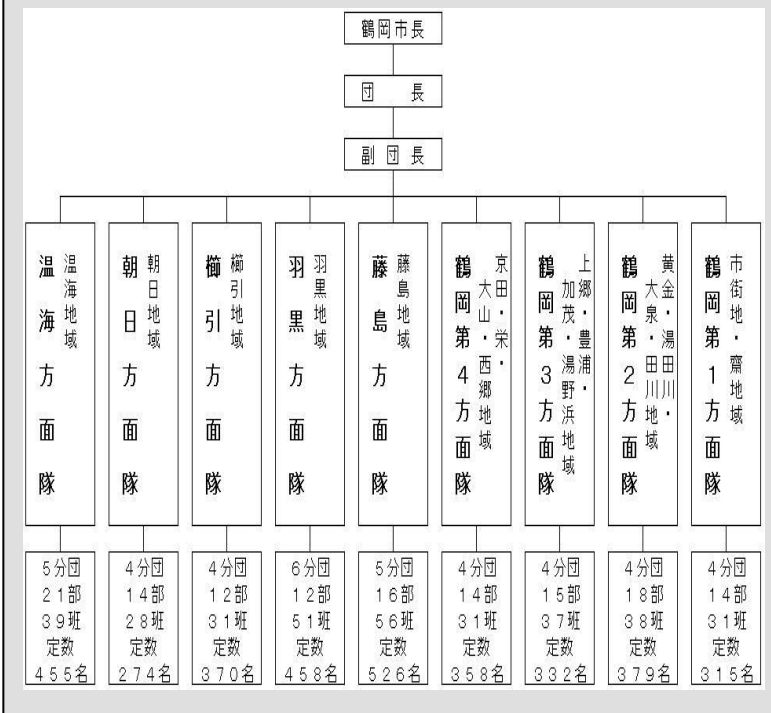
一般団員の他にも、主に予防活動や啓発を担当する女性消防団員のファイヤー

エンジンや梯子乗り・纏振り隊も一緒に活動しています。

組織や体制が変わっても

我々消防団の活動内容は変わりません。

鶴岡市消防団 組織図



消防団の主な活動

- ◎地域住民のみなさんの生命と財産を守る
- 防火宣伝、防災に対する啓発活動
- 有事の際に、すみやかに、的確に活動する為の各種訓練。
- ポンプ小屋や消防ポンプ等の機材の維持管理。
- 町内会自主防と連携しての防災訓練等の協力

今年度から本格的に鶴岡市消防団としての事業に参加する事になり、方面隊事

★新入団員募集

藤島方面隊の団員定数は526名となっていますが実情として、定員割れにな

業の他に出勤する機会が多くなりました。団員の負担は増えると思いますが、私達の住むこの地域を守る為、又、他方面隊には無い梯子乗り・纏振り等を通して、「藤島方面隊ここにあり」の精神を持って、これからの胸を張って参加していきたいと思っております。

っている班や、本来であれば班長を終わって退団するはずが、一般団員に戻って定員割れを防いでいる班、一度退団した人に再入団をお願いして定員を保っている班があります。地域を守るといいう気持ちで頑張っていますので、住民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、入団のお誘いがあつた時は、是非考えてもらい、入団していただけるようお願いいたします。

平成 22 年度 鶴岡市消防団事業予定

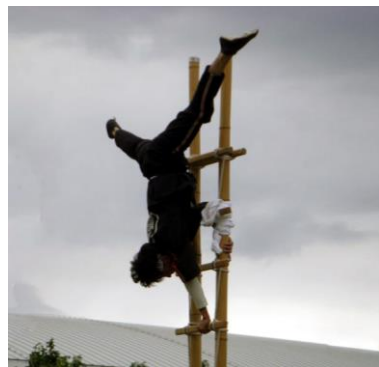
期日	事業内容
4/10	鶴岡市消防団入団式 (中央公民館)
5/29	鶴岡市消防団春季消防演習 (小真木原陸上競技場)
6/12	鶴岡市水防訓練 (湯野浜海岸)
8/ 1	庄内支部消防操法大会 (山形県消防学校)
9/26	温海地域総合防災訓練 (消防協会庄内支部後援)
11/上旬	ポンプ引渡し式 (小真木原総合体育館前)
1/ 9	鶴岡市消防出初式 (市役所前通り)

平成 22 年度 藤島方面隊事業予定

期日	事業内容
4/ 3	辞令交付式
4/9~22	春季火災予防運動
4/18	初任消防団員研修
5/23	春季消防訓練 (藤島体育芝生広場)
7/ 4	方面隊消防操法大会 (藤島体育館)
9/ 5	藤島地域総合防災訓練 (全地区)
11/9~15	秋季火災予防運動
1/23	無火災安全祈願祭 藤島地域消防出初式 (藤島公民館)



平成 21 年度鶴岡市消防団春演習に参加して思ったのは、緑の芝生、周りは緑の立木、青くぬけた空に梯子が真っ直ぐに立てられ、いつもより高く見え、乗り手の技も切れ良く見えました。出初式では、空の高さと視界の広さ、そして観客の多いことに感激しました。また、梯子の上から見渡しても、下から見上げてても周囲に電線が無いことでより高さを感じました。その高



い梯子の上から見えたのは庄内藩校致道館とその庭園。最高のロケーション、それに歓声も大きく、多く、とても気持ち良く演技が出来ました。限られた時間で、内容も切り詰めたので、梯子乗りに見に来てくれた人達に申し訳ない感じもありました。



地球温暖化の影響なのか例年になく穏やかな天候の中、鶴岡市消防団に再編されてから初めて鶴岡市消防出初式で演技を披露させて頂きました。会場の市役所前には寒いにもかかわらず大勢の観客がいて少し緊張もありましたが、演技披露する時間も



限られていた為にあつという間に終わってしまった感じがしました。都合等で参加出来なかった隊員もいて梯子乗りに隊 7 名、纏振り隊 3 名という少数ながらも『藤島方面梯子乗り・纏振り保存会』ここにありという心意気を披露できたと思います。

いつもより高く

梯子乗り隊員 栗田 幹

出初式に参加して

纏振り隊員 布川嘉浩

はしご まとい 梯子乗り・纏振り保存会 鶴岡市春演習・出初式にて 勇壮に演技披露



■梯子乗り隊員■

代表

原田 正彦

飯鉢 哲夫

栗田 幹

石川 安彦

齋藤 直八

小野寺 一貴

本間 丈裕

太田 晃二

齋藤 謙介

■纏振り隊員■

代表

板垣 一紀

浅賀 英明

布川 嘉浩

高橋 大輔

菅原 和彦

大切な家族を守る!!

～住宅用火災警報器を設置しましょう～

住宅用火災警報器（以下住警器）の設置義務化まで1年余りとなりました。昨年、住警器の設置状況を調査したところ、鶴岡市・三川町の両市町で、設置率が22.8%（藤島地域23.4%）にとどまっていることが分かりました。（全国の推計設置率は52.0%）

未設置の理由として、多い順に「設置義務化までまだ間がある」、「設置の義務化を知らない」、「費用負担が大きい」、という結果でした。

住警器を設置したことにより、火災の早期発見につながり、被害を最小限にすることができた奏功事例も報告されています。

住警器はホームセンター、電気店、防災機器取扱店等で購入できます。最近では、連動式で1つの住警器が火災を感知すると、他の部屋に設置した住警器も作動する製品もあり、家の大きさや予算に合わせて購入できるようになっています。

設置義務は平成23年5月31日までです。
大切な家族と財産を守るため、今すぐ設置するようお勧めします。

鶴岡市消防署 藤島分署より



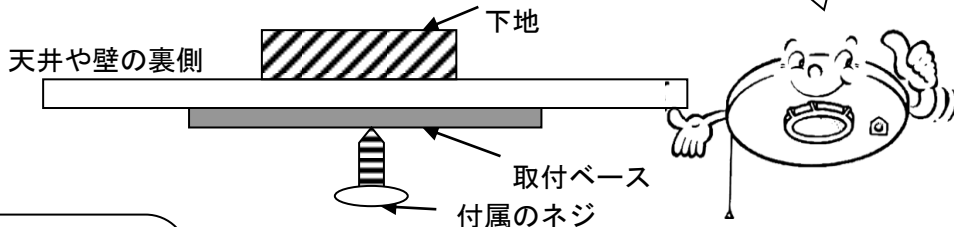
鶴岡消防
マスコット
てんじんくん

火事・救急・救助
局番なしの119

住警器の取り付け方

ご自分で簡単に設置できます。

天井面や壁面を指で叩き、下地が通っている場所を探します。



住警器の設置場所

- 寝室と、2階に寝室がある場合は階段にも。
- 台所に設置義務はありませんが設置をお勧めします。

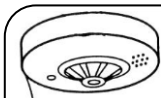
悪質な訪問販売にご注意ください

- 消防署では住警器の販売は行っていません。
- ご不明の点は、下記へお問い合わせ下さい。

↓
消防本部予防課
☎ 22-8332
消防署藤島分署
☎ 64-2139

- 本体を取付ベースに取り付けます。「カチン」と音がしてロックされるまで右に回します。

注意！
壁に取り付ける場合は、本体の上下の向きに注意してください。



警報機が正常に作動するかテストしましょう。

- テストの方法は、テストボタンを押す、または、引きひもを引くなど機種によって異なります。取扱説明書をご確認ください。
- 取り付け後も、定期的に、正常に作動するかテストをしてください。

- 取付ベースを天井の下地が通っている場所や壁の柱に、付属のネジ2本でしっかり取り付けます。

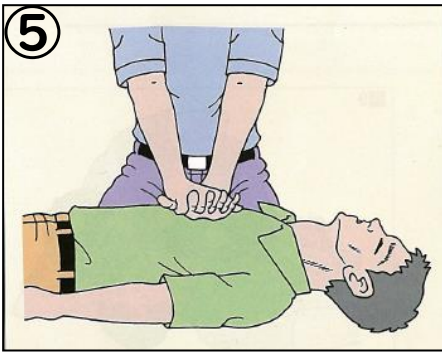
このとき、取付ベースを両面テープ等で仮止めをしてから、ネジで止めると作業がしやすいです。



ベース設置例



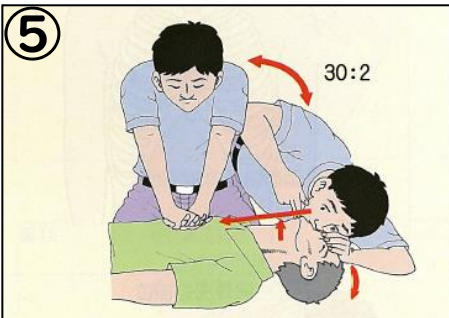
「高規格救急自動車」の配備
去る3月1日、藤島分署に
新型の救急車が更新配備さ
れました。この救急車は「高
規格救急自動車」と言われ、
より高度な救急処置を行う
ことが出来る「高度救急処
置資機材」を備えておりま
す。また、新年度からは救
急救命士も配置され、市民
生活の安全と安心を確保す
るため、人員・資機材共に
充実した救急の高度化が進
められております。



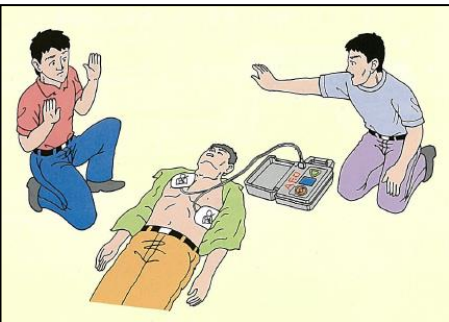
⑤ 胸骨圧迫(心臓マッサージ)



③ 気道の確保



⑤ 胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ



解析中は音声メッセージに従い離れる

救命処置の流れ

- ① 反応を確認する
↓
- ② 助けを呼ぶ
(119番通報)
↓
- ③ 気道の確保
(呼吸の確認)
↓
呼吸していない
- ④ 人工呼吸 2 回
↓
- ⑤ 胸骨圧迫 30 回との
人工呼吸 2 回を
組み合わせを繰り返す
(圧迫は強く
速く絶え間なく
圧迫解除は胸がしっ
かりもどるまで!!)
↓
- ⑥ AED 到着
電源を入れる
電極パッド装着
救急車が来るまで胸骨
圧迫を繰り返し続ける

ファイヤーエンジェルス 心肺蘇生法の手順

私達ファイヤーエンジェルスは入団してすぐに応急手当普及員の資格を取得しました。3年毎に更新の為の講習も受けてます。応急手当を10年も続けているためか自信を持って指導できる様になってきました。これからも応急手当普及員としての活動に力を入れていきたいと思っておりますので、自主防災会やサークル等へ呼んでいただきたいと思っております。連絡は下記の藤島庁舎総務課までお願いします。皆様のお役に立てることが私の最大の活動です。ご協力お願いします。

藤島地域へ
お住まいの
皆様へお願い



女性消防団員募集

【事務局】
藤島庁舎総務課
コミュニティ防災班
Tel 64-2111

鶴岡市合併により、市内にお住まいの方であれば誰でも参加できるようになりました。皆様の知人・友人に興味をお持ちの方はいませんか？是非お知らせください。広く募集しております。



班紹介

第1分団第2部第1班(中町)

「操法大会に向けて」

班長 齋藤 茂樹

私たちが中町消防団は、藤島元町中心部に位置する自動車ポンプの班です。現在10名、個性あふれるメンバーで楽しく活動を行っております。また、来年度には新入団員1名も入団予定であり、定員11名全て揃います。ますます心強く思っています。

自動車ポンプは、4年に1度「操法庄内支部大会」に出場する機会が巡ってきます。その中でも今年、平成22年は28年に1度しか巡ってこない、全国大会へ出場できるチャンスの年でもあります。番員は不安やプレッシャーもありますが、それに負けない位練習し、また団員同士のコミュニケーション、信頼関係を築き、出場するからには、全国大会を目指し頑張りたいと思います。

中町消防団員一丸となり、操法大会に向け練習に励んでいきたいと思っております。



消防クロスワード

消防に関する言葉を使ったクロスワードパズルです。2重枠の言葉を並べると、ある言葉になります。応募いただいた方の中から抽選で5名の方にファイヤーキューピーストラップが当たりますので奮ってご応募下さい。

○応募方法

左側記載のコミュニティ防災班までご郵送または FAX いただくか、下記の☑アドレスまで
☑ somu-fu@city.tsuruoka.yamagata.jp

○メ切 4月30日(金)

○注意 住所氏名等の記載を忘れずに!!
不明な点がございましたら左記事務局までお問い合わせ下さい。

1				10		15	
			8				
2						16	18
			9	11	14		
	5	7		12			
3							19
				13		17	
4							

【タテのカギ】

- 各町内会にご協力をお願いします。自主○○○○。
- 消防自動車は○○○○を鳴らして走ります。
- レスキュー隊のユニホーム色。
- 設置されていますか? ○○○○○○○火災警報器。
- 水害による住宅への被害。○○上/○○下浸水。
- 出初式などで披露されます。○○○○放水。
- 砂を入れた袋。水害時に役に立ちます。
- 初期消火の基本。バケツ○○○。
- 本番を想定した訓練。○○訓練。
- 暴風雨に注意! 台風の通り○○。
- 大雪の火災現場、ホースの運搬にこれが役立ちます。

【ヨコのカギ】

- 各町内会に設置されています。○○○水槽。
- 消防自動車は○○○○を鳴らして走ります。
- レスキュー隊のユニホーム色。
- 設置されていますか? ○○○○○○○火災警報器。
- 水害による住宅への被害。○○上/○○下浸水。
- 出初式などで披露されます。○○○○放水。
- 砂を入れた袋。水害時に役に立ちます。
- 初期消火の基本。バケツ○○○。
- 本番を想定した訓練。○○訓練。
- 暴風雨に注意! 台風の通り○○。
- 大雪の火災現場、ホースの運搬にこれが役立ちます。

私たちが作りました!

■広報委員長
加藤 英明

■広報委員
阿部 知弥、齋藤 茂樹
池田 薫、渡部 秀明
池田 修一、太田 一彦
工藤 孝一、阿部 博孝
齋藤 紀市、小鷹 武仁
阿部 勝、高橋 大輔
伊藤 輝子、高橋 綾子
鈴木 俊(藤島分署)

【委員長からの一言】

今回の広報誌「ひのみやぐら」はいかがだったでしょうか?
この広報紙を読んで下さった方が、防災意識を持ち、地元の消防力に対して安全・安心を感じていただければ幸いです。
なお、第1分団第2部第1班(中町)からは、全国大会出場という大きな目標に向かって頑張っていたいただきたいものです。
(加藤)

鶴岡市消防団藤島方面隊
広報誌「ひのみやぐら」第28号

編集・発行/藤島方面隊広報委員会(事務局: 鶴岡市藤島庁舎総務課コミュニティ防災班内)
〒999-7696 山形県鶴岡市藤島字笹花25 TEL:0235-64-2111 FAX:0235-64-4280
URL: http://www.city.tsuruoka.lg.jp/501100/